

2009年10月9日

株式会社 富士キメラ総研

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
2-5 F・Kビル

TEL.03-3664-5839 FAX.03-3661-1414

URL: <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>URL: <http://www.fcr.co.jp/>

広報部 03-3664-5697

電子マネーが普及し多様化するサービス、生活インフラになった

日本のカードビジネス市場を調査

2013年予測

カード決済サービス 49兆3,500億円(08年比140.3%) 公金や保険料支払い利用が貢献

電子マネー 3兆4,680億円(08年比298.5%) 小額決済への利用拡大

マーケティング&コンサルティングの株式会社富士キメラ総研(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 田中一志 03-3664-5839)は、7月から9月にかけて既に様々な用途で利用され生活に欠かせないインフラの1つとなっている決済サービスやICカード活用ソリューションなどカード関連ビジネス市場を調査した。

「決済サービス」では、カード(おサイフケータイ含む)で決済を行うサービス(クレジットカード決済、デビットカード決済、磁気プリペイドカード決済、プリペイド型電子マネー、ポストペイ型電子マネー、サーバ管理型電子マネー)の決済市場を取り上げた。また、「ICカードソリューション」ではICカードを活用する10種類のソリューション市場を取り上げてその規模と動向の把握を行った。その結果を報告書「カード関連ビジネスの現状と将来展望 2009」にまとめた。

なお、08年のカード発行枚数はICカードが1億8,400万枚(前年比96.8%)、785億円(同88.4%)と減少。今後発行枚数は横ばいから微増しても金額は減少傾向と予測され、カード発行は一段落した。

1. 調査結果の概要

	09年見込	08年比	13年予測	08年比
カード決済サービス市場	34兆2,846億円	97.5%	49兆3,462億円	140.3%
プリペイド型電子マネー	1兆2,000億円	133.3%	2兆6,500億円	294.4%
ポストペイ型電子マネー	2,600億円	144.4%	7,200億円	400.0%
サーバ管理型電子マネー	840億円	102.4%	980億円	119.5%
クレジットカード決済	31兆7,800億円	96.5%	44兆9,700億円	136.5%
デビットカード決済	7,490億円	97.1%	7,650億円	99.2%
磁気プリペイドカード決済	2,116億円	71.9%	1,432億円	48.6%
ICカードソリューション市場	5,079億円	100.1%	6,914億円	136.2%

「決済サービス」の利用市場の09年見込は、主要なカード活用ビジネスが出揃い、電子マネーの普及も進んで34兆2,846億円(前年比97.5%)となる。08年秋以降の世界景気悪化の影響から国内消費が落ち込み一時的に減少する。その後はインフラが整備され利用者が増加している電子マネーがますます普及することや、公金(税金、公共料金など)や保険料の支払など新たな利用がクレジットカード決済に期待されるなどから13年には49兆3,462億円(08年比140.3%)に拡大すると予測する。

「ICカードソリューション」の09年市場は、調査対象とした10種類のソリューションシステムでは5,079億円(前年比100.1%)とほぼ横ばいが見込まれる。入退室管理システム(前年比76.9%)、監視システム(同90.8%)などが企業の設備投資抑制の影響を受け縮小したことが影響している。今後はセキュリティ管理の導入がますます進むこと、ICカードを活用したポイントサービスなど顧客管理システム市場が高成長するなどから13年の予測は6,914億円(08年比136.2%)に拡大する。

社員証ICカードを活用したソリューションの複合導入が進む

ICカードを活用した入退室管理システムの導入が進み、ICカードの社員証を複数のシステムに連携させるケースが拡大している。デスクトップセキュリティ、ドキュメントセキュリティ、電子錠キャビネットなどのセキュリティソリューションや、勤怠管理システムなどICカードと社員情報を連動させたIDカード(身分証明書)ソリューションの導入が進んでいる。また生体認証(指紋認証、静脈認証など)は、今後着実に精度や処理スピード

が改善されて需要が増し高度なセキュリティ管理を要求する領域で利用され、一部現状のICカード利用領域を侵食していくと見られるが、ICカードは認証デバイスの統一性、IDの一元管理などの面で優れているため引き続き主要認証デバイスであり続けると思われる。

2. 注目される決済サービス市場

カード決済サービス市場は、クレジットカード会社が提供するポイントサービスを活用する目的で公金（税金、公共料金など）や保険料の支払にクレジットカード決済を利用する消費者が増えたこと、加盟店舗が増えインフラが整ったためこれまで現金決済されていた小額決済において電子マネー決済の利用が進んだことなどの要因が見られ、10年以降は拡大を続けると予測される。公金（税金、公共料金など）市場は、現在のクレジットカード決済金額と同額の約40兆円の規模と見られ、この市場でのクレジットカード決済比率が高まることでクレジットカード決済市場規模の大幅な拡大が期待される。

デビットカード決済は、即日決済/即入金といった売上回収の迅速性などのメリットもあるが、電子マネーやクレジットカード決済へ消費者のニーズが移っているため市場は伸び悩んでいる。但し、中国の銀聯カードや証券/生命保険/損保系企業が初回支払い分をデビットカード決済可能とするなどの成長要因が見られるため市場全体は横ばいから微増で推移すると予測される。

- (1) 電子マネーはプリペイド型電子マネーが利用可能な加盟店開拓が進み利用者が増えて決済金額が拡大し実用段階を迎えている。ポストペイ型電子マネーも主要流通/店舗、ガソリンスタンドなどで導入され始めて決済金額を拡大するなど現金決済の代替手段として利用が拡大している。09年から13年までの年平均成長率はそれぞれプリペイド型が22%、ポストペイ型が29%と高くなると予測する。

プリペイド型電子マネー

09年見込 1兆2,000億円(前年比133.3%) 13年予測 2兆6,500億円(08年比294.4%)

小額決済を迅速に行うための手段として登場したため処理速度は速い。但し事前チャージの手間がかかる。FeliCaの認証番号や発行者採番番号などでIDが管理されており、記録の記号化などカードが持つ情報自体のセキュリティ性が高く、不正利用のケースが極めて少ない。08年の市場規模は9,000億円(前年比138.5%)となっている。07年に大手流通業2社(イオン、セブン&アイ)が参入して以降、ショッピングでの活用が急速に進んできており、決済金額は拡大を続けている。運賃支払を中心に展開してきた鉄道系、特にSuicaとPASMOの連携により、駅ナカ及び鉄道沿線を中心に利用が進み、決済金額は年々増加している。但し、金額チャージを行ってから決済を行う点を効率面で敬遠するユーザーが多いことや、チャージ上限額があることから高額商品の決済に利用されるまでにはしばらく時間がかかると見られる。また、プリペイド型電子マネーの多くがFeliCa搭載携帯電話を利用してクレジットカード決済によりオートチャージする、などの方向に向かっているが、クレジットカードや携帯電話での利用ではポストペイ型電子マネーが利用効率、決済金額共に優れているため、高額決済での利用には今しばらく時間がかかるものと見られる。

インターネット上での決済はEdy(FeliCa)がいち早く可能とし、09年7月よりSuicaも開始した。ソニー、東芝、日本電気、パナソニック、富士通などではFeliCaポートを搭載したPCを提供し、ソニーは液晶TV「BRAVIA」でFeliCaポート搭載するなど、インフラを拡げつつある。

ポストペイ型電子マネー

09年見込 2,600億円(前年比144.4%) 13年予測 7,200億円(08年比400.0%)

ポストペイ型電子マネーは「iD」「VISA Touch」「QUICPay」などクレジットカード決済と紐づいて提供され、請求はクレジットカード決済と同時にこなされるためクレジットカード決済と類似している。カードを店員に渡さず自身で決済処理を行えるので迅速性が高い。偽造される可能性が低い点、自分で決済が可能な点からもセキュリティ面は優れている。

08年の決済金額は、1,800億円(前年比200.0%)と見られる。NTTドコモが提供する「iD」、VISA及び三菱UFJニコスが提供する「VISA Touch/Smartplus」、JCBなどが提供する「QUICPay」を中心に形成されている市場であるが、加入者数(4種計会員数約1,800万人)、加盟店舗数共に少ない。各社の取り組みによりいずれも会員数が増加して来ているので今後決済金額は増加して行くと思われる。ただし、この電子マネーはクレジットカード決済とほぼ同様のサービスであり、高額決済はクレジットカード決済で、小額決済をこの電子マネーで獲得して行きたいとの思惑がクレジットカード国際ブランド企業に強くあるため当面は小額決済が中心になってくると見られる。また、ガソリンスタンドやタクシーなどでの利用も可能となって来おり、比較的高価なサービ

ス向け利用が今後増えて行くと思われる。

(2) クレジットカード決済は高額商品の購入などで利用が進むが、各種法規制の影響もありショッピングでの伸びは鈍化する可能性がある。公金(税金、公共料金など)の支払いや保険料の支払いなど新たな決済が登場して決済金額の増加に貢献すると見られる。

クレジットカード決済

09年見込 31兆7,800億円(前年比96.5%) 13年予測44兆9,700億円(08年比136.5%)

オーソリデータのやり取りは瞬時に行われ記名のみで利用が可能で、迅速性は高い。サインレスで利用可能な店舗も増えており、更に迅速になっていく。通信におけるセキュリティは専用ネットワークを利用する為強固であり、偽造による被害が相次いだクレジットカードはIC化を進めることで犯罪が減少している。

「経済産業省特定サービス産業実態調査」におけるクレジットカード販売信用業務取扱高から当社推定のポストペイ型電子マネー決済金額を除いた市場は、08年32兆9,380億円(前年比110.0%)に拡大した。不況に陥った年末にかけて利用が減少したものの、秋頃までのショッピング利用の堅調な実績と公金(税金、公共料金など)や保険料の支払いが相次いで利用可能となったことによる増加が寄与したと見られる。09年も不況の影響による消費者の買い控えが顕著となっており、31兆7,800億円(前年比96.5%)の減少推移になると予想される。今後は公金(税金、公共料金など)や保険料の支払いで利用者の増加が続くと見られること、不況に底入れ感が出て来ており、ショッピング利用を勧めるカード会社の施策(ポイントサービスによる囲い込み、ETCカードの利用者増加)などによって、決済が拡大すると見られ、堅調な伸びが予測される。

クレジットカードのインターネットショッピング利用者も増加しており、セキュリティの暗号化が進んだことによる安心感や初回の情報入力で次回からの入力を省ける面からも今後も伸びる要因になると見られる。決済が多様化してプリペイド型電子マネーの利用拡大も進んではいるが、客単価別に棲み分けがなされると見られる。

以上

<調査対象>

「決済サービス」クレジットカード決済、デビットカード決済、磁気プリペイドカード決済、電子マネー(プリペイド型、ポストペイ型、サーバ管理型)

「ICカードソリューション」入退室管理システム、監視システム、デスクトップセキュリティ、ドキュメントセキュリティ、電子錠キャビネット、登下校見守りシステム、リモートアクセス、課金/決済ソリューション、勤怠管理システム、顧客管理システム

「分野/需要先」一般企業(オフィスビル、工場)、教育機関、金融機関、流通/店舗(コンビニエンスストア、外食店舗、GMS/百貨店、その他)、レジャー/アミューズメント施設(映画館、カラオケボックス、ゲームセンター、パチンコホール)、医療機関、公共施設、交通機関、官公庁/自治体/公益事業会社、オンラインビジネス(ECサイト(物販)、ECサイト(デジタルコンテンツ)、オンラインゲーム)、その他(データセンタ)

「カード」ICカード(接触式/非接触式)、サーマルリライトカード

「関連機器」磁気プリペイドカードリーダー、磁気ストライプカードリーダー/ライター、ICカードリーダー/ライター(接触式/非接触式)、リライトカードリーダー/ライター、FeliCa搭載携帯電話端末

「カードアプリケーション」クレジットカード、キャッシュカード、IC定期券/乗車券(鉄道・バス)、テレホンカード

ード、国際電話用テレホンカード、UIMカード、社員証/学生証、会員カード、プラスチックギフトカード、全国共通図書カード、QUCカード、住民基本台帳カード、パチンコカード、商店街ICカード、ETCカード

<調査期間> 2009年7月~9月

<調査方法> 富士キメラ総研専門調査員による調査対象・関連企業・団体に対する直接面接取材及び富士キメラ総研社内データベースの活用、公式データの活用による調査・分析

資料タイトル:「カード関連ビジネスの現状と将来展望 2009」

体 裁 : A4判 282頁

価 格 : 97,000円(税込み101,850円)

CD-ROM付価格 : 107,000円(税込み112,350円)

調査・編集 : 株式会社 富士キメラ総研 研究開発本部 第二研究開発部門

TEL:03-3664-5818 FAX:03-3661-5275

発 行 所 : 株式会社 富士キメラ総研

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル

TEL03-3664-5839(代) FAX 03-3661-1414 e-mail:info@fcr.co.jp

この情報はホームページでもご覧いただけます。

URL:<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/> URL:<http://www.fcr.co.jp/>